

研究課題名	対象となる方	研究目的	研究期間	研究に用いる情報	実施責任者
多職種による薬剤適正使用チェックの有用性の検討	急性心不全で入院する60歳以上の患者	本研究は、急性心不全で入院した患者を対象に多職種による薬剤適正使用のチェックを行い、polypharmacy是正を達成できるか確認し、達成できない要因、患者背景を明らかにし、またQOLの変化や予後追跡を行い心不全患者におけるdeprescribingの妥当性明らかにすることを目的とした、単施設前向き観察研究である。	倫理審査委員会承認後～2025年12月31日	1) 患者基本情報 2) 医学的情報(基礎疾患名、心不全の経過、自覚症状、採血データ、心電図、心エコー、体組成分析、6分間歩行距離) 3) QOLアンケート 4) 栄養評価アンケート 5) 転帰 6) 服薬情報	河合 勇介
瀬戸内乳がん登録	乳癌手術治療を行った患者全例	地域(中国, 四国地方)共通乳がん登録システムを構築し、乳がん罹患の動向(年齢別罹患数, 発見契機, 進行度, 生物学的特性など), 治療の動向(手術・放射線・薬物療法の実施詳細など), 予後情報(再発, 生存など)を評価・検討する。大規模データベースの解析により医学研究や社会に還元可能な、乳がん関連疫学情報を得る。	倫理委員会承認後～2026年12月	1) 患者基本情報 2) 診療情報(背景因子情報, がん関連情報, 治療関連情報, 予後情報)	池田 宏国
黄色ブドウ球菌血症における臨床的・微生物学的特徴、予後、診療の質指標の後ろ向き検討	2022年に血液培養より黄色ブドウ球菌が検出された患者。	本研究では中四国地方の複数の医療機関における黄色ブドウ球菌血症症例について、臨床的、微生物学的特徴、予後、診療の質指標の検討を多施設後ろ向き研究にて実施することで、本疾患におけるリスク評価や治療マネジメントの改善に寄与することを目的とする。	倫理委員会承認後～2026年12月31日	①患者情報(個人特定不可) ②黄色ブドウ球菌感染症の状況(市中感染か院内感染か、複雑性感染症の有無、検査所見) ③微生物検査情報(血液培養の検査状況) ④治療(投与された抗菌薬等) ⑤予後(30日死亡、院内死亡)	岸田 雅之